

項目		(国調査項目)		サポートセンターの取り組み委託事項	協議会進捗管理	戦略プログラム	
(ア) 地域の医療・介護の資源の把握							
①	地域の医療・介護資源の情報収集	(ア) 1	医療機関や介護事業所の情報収集	・医師会・歯科医師会・薬剤師会の情報を随時、確認。 ・新規で開業された事業所があれば、随時、市へ報告。 ・介護事業所は県のホームページで市も確認するが、新規の事業所ができた時には、訪問するなどして事業所の確認をする。	・歯科医の訪問歯科診療の実施状況 ・薬剤師の訪問薬剤管理指導の実施状況		
②	地域の医療・介護資源の情報の整理	(ア) 2	医療・介護資源の情報整理 (リスト・マップ)	収集した情報を集計し、データ化。			
③	地域の医療・介護資源の情報の共有と活用	(ア) 3	情報の共有	・②でデータ化した情報を市へ情報提供し、情報の共有化を図る。 ・これを元に、市が医療・介護資源マップへ掲載し、公表。	・サービス事業所の情報共有		
④	収集・整理した地域の医療・介護の資源の情報の公表	(ア) 4	市Webサイトでの公表				
⑤	収集・整理した情報の定期的な更新	(ア) 5	定期的な更新	①～④を随時、更新する。			
(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討							
①	在宅医療・介護連携等に向けた各専門職における課題・ニーズの抽出・共有や対応策の検討	(イ) 1	情報や取組みの集約・整理	・市が主催の在宅医療・介護連携推進委員会へ参加し、状況報告等を行う。			
②	医療・介護の関係団体との連携	(イ) 2	課題の分析や推進方針の検討	・医師会の在宅医療推進委員会へ出席し、状況報告等を行う。			
		(イ) 3	ヒアリングや議論等による課題・ニーズの抽出・共有や対応策の検討	・サポートセンター会議（1回/月）			
		(イ) 4	他職種が会する場での課題・ニーズの抽出・共有や対応策の検討	・地域包括支援センターが実施する地域ケア会議や在宅介護を受けている方のサービス担当者会議等へ参加し、連携を図る。			
		(イ) 5	会議での取組の方向性、目指す目標等の共有・検討	・地域包括支援センターが主催の四者連絡会（年2回程度）へ参加し、連携を図る。 ・地域包括支援センター連絡会や管理者会等へ参加し、連携を図る。 ・サポートセンターが主催となる会議の資料作成や準備を行う。			
(ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進							
①	切れ目のない在宅医療・介護のサービス提供体制の構築	(ウ) 1	切れ目のない提供体制のニーズ、あり方の検討	・医療機関と訪問看護ステーションとの連携体制の構築、副科受診の支援、消防救急隊との調整、摂食嚥下サポートチームの活用など、これまで取り組んできたことに対すること。 ・上記以外の新たな課題に対する取組みの検討。	・療法士の取組み	1.3.1.①_在宅医療医の拡充と実施機関の連携	
		(ウ) 2	主治医・副主治医制の導入・推進				
②	①において得られた検討内容から、地域の実情に応じて、必要かつ具体的な取組みを企画・立案	(ウ) 3	急変時の診療医療機関や後方病床の確保				1.3.1.②_訪問診療医に対する後方支援病院の確保
		(ウ) 4	訪問診療・往診を提供する医療機関と訪問看護との連携				1.3.1.③_訪問看護師と訪問診療医との連携
(エ) 地域の医療・介護関係者の情報共有の支援							
①	情報共有ツールの確認・作成	(エ) 1	共有すべき情報、共有方法の検討	・サポートセンターが主体となって、現在、活用されている「医療・介護連携シート」について、診療報酬改定に伴い、再検討をする。 ・近隣市町村と連携したシートの検討。（書式の統一化についての検討等）	・ICTの構築 ・病院とケアマネの連携		
		(エ) 2	既存のツールや活用状況の確認				
②	情報共有ツールの導入・利用促進	(エ) 3	情報ツールの検討				
		(エ) 4	情報共有ツールの導入や利用促進				
③	情報共有ツールの活用状況や効果についての評価	(エ) 5	導入したツールの活用状況や効果の評価・改善				

項目		(国調査項目)		サポートセンターの取り組み委託事項	協議会進捗管理	戦略プログラム	
(オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援							
①	在宅医療・介護連携を支援する窓口の設置・運営	(オ) 1	相談窓口のニーズ確認	・各事業所、地域包括支援センター、市民等からの在宅医療・介護に関する相談を受け、対応する。(相談窓口の強化) ・相談支援をする中で、地域ケア会議等の会議への出席が必要な場合、参加する。			
		(オ) 2	相談窓口の設置・運営				
	②	地域包括支援センターとの連携	(オ) 3				研修会の実施
			(オ) 4				相談員との関係構築(会議への参加)
(カ) 医療・介護関係者の研修							
①	既存で実施している研修の整理やニーズの確認	(カ) 1	研修会の整理やニーズの確認	・関係各機関から出る課題の情報収集	・研修	1.1.2.①_組織内での研修会の開催	
②	多職種連携についてのグループワーク等を活用した研修の実施	(カ) 2・6	多職種連携GW事例検討	・①を元に多職種連携についての研修を企画・立案。講師等の連絡調整。参加者への案内。資料の準備。当日の準備・運営。謝礼の支払い。			
③	地域の医療・介護関係者に対する研修の実施	(カ) 3・4	介護分野の研修 医療分野の研修	・①を元に医療・介護に関する研修を企画・立案。講師等の連絡調整。参加者への案内。資料の準備。当日の準備・運営。謝礼の支払い。			
④	その他	(カ) 5	在宅療養者への同行訪問	・新しい課題に対する研修の企画・立案・実施。			
(キ) 地域住民への普及啓発							
①	地域住民向けの講演会の開催	(キ) 1	地域住民向け普及啓発	・市民向け講演会の企画・立案・実施。(H30年度は講師謝礼を市で予算化している。)	・わた史ノートの普及・啓発	1.1.1.②_外来時や入退院時等の医療介護関係機関の専門職からの説明	
②	在宅医療や介護に関するパンフレット・リーフレットの作成	(キ) 2・3	在宅医療・介護の内容、利用方法の周知・啓発	・市民に分かりやすく在宅医療や介護に関する説明のできるパンフレット等の企画・作成。 ・できたパンフレットを関係機関へ配布。			
③	地域住民向けの講座の開催		終末期ケアや在宅での看取りに関連した情報の周知・啓発	・「わた史ノート」の出前講座の実施。 ・上記以外の在宅医療に関する出前講座を企画し、実現化させる。			
(ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携							
①	市区町村や郡市区医師会等関係団体等から出されている広域的な取組を要する課題について整理	(ク) 1	広域的な課題やニーズの整理・検討	・サポートセンター連絡会議への参加。(広域連携を意識する) ・会議等を通じて、近隣市町村との連携を図る。			
②	課題を踏まえて、市区町村・都道府県や郡市区医師会等関係団体と連携し、協議	(ク) 2~4	広域的な課題やニーズの近隣市、県、保健所、医療・介護関係者の共有、整理・検討	・近隣市町村医師会等との連携を図るための会議への参加。(広域連携を意識する) ・会議等を通じて、近隣市町村との連携を図る。			